

地域に視点をあてた事業展開 [高齢]

# 地域活動 “いきいきサロン” の活動と効果について

気軽に来たい人が来て、帰りたいときに帰るというコンセプトのもと、喫茶形式の交流を行うサロンを社協や他事業所、NPO法人等の協力と民生委員や自治会長の参加のもと運営している。地域で悩みを抱えている高齢者の方々の憩いの場となるよう、利用者の自発性を促しながら開催を続けている。

大阪府

社会福祉法人

晋栄福祉会

〒571-0055 大阪府門真市中町11-96

TEL : 06-6902-8666 FAX : 06-6902-8663

## ○法人設立年／昭和54年

## ○法人実施事業

- ①経営施設数合計：10施設
- ②経営施設・事業【種別毎の数】：  
特別養護老人ホーム…3、保育園…3、通所介護事業…5、小規模多機能型事業…1

## ○法人の理念・経営方針

「DO FOR OTHERS」

情熱をもって行動する。前進と振り返り。時には回り道もある。あらゆる工夫でいろいろな方法でコミュニケーションをとり連携する。全ては地域に住む人々と自らの幸福の為に。

## ○取り組みの法人での位置づけ等

法人の自主事業として、地域密着を目指した地域サロンを開設している。

## ○取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

くすのき介護センター市役所前、くすのき介護相談センター

【施設種別及び利用定員】

訪問介護事業、居宅介護支援事業

## ○活動内容

- ◇活動開始年：平成19年1月
- ◇活動の対象者：  
地域の若年層の高齢者
- ◇活動の頻度・時間：  
月2回 2～3時間

## 活動実施の背景、実施にいたった理由

たまたま地域で、若くして脳梗塞から失語症の後遺症が残り、障害受容に苦しみ、介護が必要な自分に対する今後の過ごし方をどうしたら良いのか、という問題を抱えておられる方に出会った。この方だけでなく、他にも若くしてリウマチを発症され、今まで行ってきた家事ができず、妻として母親としての役目が果たせなくなり、今後どの様に自分は生きていったら良いのかと悩んでいる方もいらっしゃった。そこには、介護保険でヘルパー派遣やデイサービスを利用しても満たされない生活や気持ち、どの様に過ごしたらいいのかという悩みや人とのコミュニケーションを大切にしたいという気持ちがあった。「自主的な交流の場がほしい」、「気軽に集まって話ができる場がほしい」、「趣味を見つけたい」などのニーズがあることが分かり、それに応えられる活動とは何かを考えた。

## 実施内容

最初は手探りで、趣味の発見に繋がりそうなものを用意しつつ、気軽に集まれる場所の提供と交流を目的としたお茶をしながら話す、というサロンの形式から始まった。「気軽に来たい人が来て、帰りたい時に帰る」というコンセプトのもと、月に1回、100円で喫茶形式の交流を行うものである。

基本のサロン形式としては、書道やぬり絵や絵を描いたり好きなことをしていただき、何もしたくない人は他の方の様子を見ておられたりする。スタッフは、リラックスした雰囲気を作り出すために、タイミングを見ながら「お正月どうされていました?」、「〇〇にお店ができましたね」と話題を提供する。利用者間の会話が弾みだすとそこで一步引き、各々の会話がバラバラで雰囲気が乱れてくると調整に入る。

## 活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

いきいきサロンで一番感じたことは、利用者の皆様が仲間意識をもたれてきていて、それを大切にしようという気持ちが伝わってくることである。「集団の中でトラブルが発生すると、自分が楽しみにしているいきいきサロンそのものが楽しくなくなる。」という気持ちから、仲間と場所、お互いを思いやる気持ちを大切に、人への配慮をしながら自分も楽しめる方法を考えていこうとする姿勢が見られる。社会福祉協議会の方や他のサービス事業所やNPO法人、そして民生委員や自治会長達と何度も話し合い、「始めた以上は継続して行う事が信頼を維持することである」等様々なご意見をいただいている。平成19年2月に第1回のいきいきサロンを行って以来、現在も継続している。

## 今後の課題及び展開

継続することで利用者も増加してきている。利用者は口コミで来られる方が多いが、そこで様々な方との交流が持てるという効果がある。次も絶対来るという意気込みも見られ、話し合いの中での主体的な意見の多さや話をされている様子からは、長く付き合える安心感を持っておられるようである。

如何に皆がこの場を負担なく継続していけるかをお互いが考えておられる様子も伺える。継続を促せるよう見守っていきいたい。ニーズに合わせて形式を変えてみたり、回数を増やしてみたりしていきいたいと思う。

## 主な経費や財源及び人員等

(年間あたり)

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
喫茶用茶菓子	4,800円	参加者参加費	8,400円
飲み物	6,000円		円
<合計>	10,800円	<合計>	8,400円

- ・取り組みに係わった職員数 2名  
(職種等：主任介護支援専門員、ヘルパー)

